

## V. 98年度研究会日誌

月/日	報告内容	報告者
(1998)		
5/26	研究会 戦後の沖縄におけるエイサーの展開 ～地域を表象する身体の成立～	岡本 純也
6/30	研究会 メディア研究と公共圏論 ～批判的スポーツ理論におけるメディア研究～	鬼丸 正明
7/21	講演会 ドイツにおけるスポーツ史研究の今日的状況について ドイツ・ケルン・スポーツ大学助教授	Joachim K. Rühl
10/13	研究会 多国籍企業・福祉国家・保体審答申	内海 和雄
11/1～2	秋期研究合宿【スポーツのグローバリゼーションと多元性】 (府中) 日本体育協会における「国民スポーツ組織論」の検討について	関 春南
	障害者スポーツの動向	尾崎 正峰
	日独スポーツ関係史資料について ～ポツダム・ブントスマルチーフ調査報告～	上野 卓郎
11/24	時事問題検討会 NIKEのマーケティング戦略と日本のマスコミ	早川 武彦
12/15	時事問題検討会 新自由主義下の教育政策動向	藤田 和也
(1999)		
1/19	研究会 「近代スポーツ」と民俗	高津 勝
2/9	ゲスト研究会 身体と規範 ～ポストナショナルのスポーツ～ (佐野書院) 社会学部教授	辻内 鏡人
3/23～24	講演会 1. スポータイゼーションとグローバリゼーション 2. イギリススポーツ社会学の現状と展望 英国ラフバラ大学教授	Joseph Maguire
4/3～4	春期研究合宿【スポーツのグローバリゼーションと多元性】 (箱根) 「日本型」地域スポーツクラブは構想できるか? 「スポーツの近代化」と「民俗舞踊の近代化」 多国籍企業・グローバリゼーション・福祉国家とスポーツ	尾崎 正峰 岡本 純也 内海 和雄